

各位

会社名 株式会社 住友倉庫  
代表者名 社長 小野孝則  
(コード番号 9303 東証第1部)  
問合せ先 経理部長 星野公彦  
(TEL. 06-6444-1183)

### グリーンボンド発行に関するお知らせ

当社は、国内市場において、公募形式によるグリーンボンドの発行を予定しておりますので、お知らせいたします。

グリーンボンドとは、企業や地方公共団体等がグリーンプロジェクト（再生可能エネルギー事業、省エネ設備の建設・改修、環境汚染の防止・管理等の環境改善効果がある事業）に要する資金を調達するために発行する債券です。

なお、倉庫会社によるグリーンボンドの発行は国内初となります。

### 記

#### 1. 本発行の目的及び背景

当社は、地球環境保全が事業上の重要課題の一つであるという認識のもと、企業活動による環境負荷の軽減など、環境保全に一層貢献すべく2006年に環境方針を策定し、それ以来、太陽光発電システムの導入、屋上緑化、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）A ランク（大変良い）評価取得、グリーン経営認証取得など、様々な取組みを継続しています。現在推進中の中期経営計画「チャレンジ120」においても、社会から信頼され、社会に貢献する企業であり続けるとともに、長期的な展望も視野に入れた成長戦略を推進する過程において、老朽化した倉庫の高機能倉庫への置き換え、設備の更新などに取組んでおります。その中で、今般、より環境に配慮した施設・設備の導入に必要な資金については、グリーンボンドの発行により調達することを決定いたしました。

#### 2. グリーンボンドの概要

発行年限／予定額	5年／50億円
発行予定時期	2019年9月（予定）
資金の用途	以下の環境保全に関する設備投資に充当します（リファイナンスを含みます）。 1. 当社が保有する国内倉庫施設及び貸ビル等の空調機器の更新 2. 当社が保有する国内倉庫施設等の照明器具のLED化 3. 海外子会社が保有する倉庫施設の屋上への太陽光発電設備の設置
主幹事会社	SMBC日興証券株式会社、大和証券株式会社
Green Bond Structuring Agent	大和証券株式会社

(注) 資金用途につきましては、国際資本市場協会の「グリーンボンド原則 2018」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」に基づく適格基準を満たすものとして、以下の通り選定しております。

(1) 電力使用量削減プロジェクト

①空調機器の更新

更新前後において約 30%の機器電力使用量削減が見込まれるもの

②照明器具の LED 化

更新前後において平均約 60%の器具電力使用量削減が見込まれるもの

(2) 再生可能エネルギー発電プロジェクト

太陽光発電設備の設置

なお、上記の資金用途は、持続可能な開発目標 (SDGs) と一致しております。



**目標 7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに**

**ターゲット 7.3.** 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。



**目標 9：産業と技術革新の基礎をつくろう**

**ターゲット 9.4.** 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。



**目標 11：住み続けられる街づくりを**

**ターゲット 11.3.** 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

3. グリーンボンドの適格性

当グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、株式会社日本格付研究所 (JCR) から、「JCR グリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の予備評価を取得しました。

当評価は、以下の JCR ホームページに掲載されています。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/green/>

4. 今後のスケジュール

発行金額等の条件は、2019年9月に決定する予定です。決定次第すみやかにお知らせします。

以 上